

「2008 日中青少年友好交流年」日本側開幕式を開催 胡錦濤国家主席が臨席、日中青少年1千人が集合

中国の胡錦濤国家主席が国賓として5月6日から10日まで来日した。

5月8日早稲田大学大隈講堂で、外務省、中華全国青年連合会、財団法人日中友好会館、早稲田大学、社団法人日中友好協会、社団法人日中協会、日本青年団協議会の共催で、胡錦濤主席特別講演および「日中青少年友好交流年」開幕式が行われた。

特別講演で、胡錦濤主席は、「青少年は両国関係の未来と希望の象徴」などと述べ、青少年交流の重要性を強調した。開幕式オープニングには福田総理も出席し、「両国民の理解を増進し、長期的友好の絆になるよう希望している」と祝辞を述べた。

舞台には、日本側からは中国語圏で高い人気を誇る男性アイドルグループ w-inds. や、振り付け師のパパイヤ鈴木氏率いるダンスチームが登場。中国青年代表団のメンバーである北京舞蹈学院の学生らと息の合ったコラボレーションを見せ、会場の雰囲気盛り上げた。また、早稲田大学応援部チアリーダーズと東京都立深沢高校和太鼓部が、若いエネルギーいっぱいの迫力あるパフォーマンスで大きな拍手を浴びた。



日中アーティストが言葉の壁を越えて共演した

また、中国からは青少年友好交流年イメージ大使であるピアニストの李雲迪氏、若手実力派歌手の張〔青見〕穎さんが来日し、日本側アーティストと共演するなど、終始観客を魅了していた。



客席や司会者からの歓迎に笑顔で応える李雲迪氏

開幕式には、3月15日に北京市で行われた中国側開幕式に出席した日本青少年訪中代表団の参加者をはじめ、日中高校生交流の受け入れ校生徒や経済界、日中関係団体の関係者、早稲田大学の学生と関係者ら約1,000名が集った。その中には、5月4日から来日した中国青年代表団200名と、日本に長く住む中国人留学生や華僑代表等も含まれ、交流年の開幕を共に祝った。



日中ダンサーの息もぴったり

一方、胡錦濤主席と福田総理は同大学内ガーデンハウスで青少年 100 名との交流会にも参加した。交流会では、3月に訪中した際に胡主席と面会した高校生や大学生が手紙を持って出迎え、また、経済界代表や中国からの留学生らがあいさつした。福原愛、王楠両選手が卓球を披露した後、胡主席が福原選手とラリーを楽しむ様子はテレビを通じて日中両国に放映され、青少年交流の幕開けにふさわしい華を添えた。



卓球交流の後、ラケットにサインした
胡錦濤主席と福田総理

同日夜には、リーガロイヤルホテル東京にて記念レセプションが行われた。会場では、宇野治外務大臣政務官と中華全国青年連合会の張曉蘭副主席があいさつし、互いに交流年の活動を盛り上げることに期待を寄せた。日中双方の出席者らが歓談するなか、中国青年代表団に参加していた中国障害者芸術団団長の邵麗華さんが華麗な舞踊を披露すると、観客からは一斉に感動の拍手、盛んにフラッシュがたかれた。



古賀メロディをはじめとするマンドリンの
音色に中国青年団も聴き入った

日本側は、明治大学マンドリン倶楽部や東京都立日比谷高校剣道部が参加し、日本文化紹介に一役買った。フィナーレは、たくさんの出会いが生まれる年であると、交流年のイメージソング「明天会更好」の大合唱で、日中双方の心が一つになったレセプションとなった。



レセプションにはおよそ 600 名が参加



交流年イメージソング「明天会更好」の大合唱

(総合交流部)